

平成 26 年度

工芸産地組合高度化促進事業

【次世代経営者育成セミナー】（異業種との意見交換・交流会）

伝統工芸品は主に①ファッション、②ギフト(土産品・記念品・贈答品等)、
③生活用品 ④通過儀礼、祭祀等の際の実用品として利用されてきました。

しかし、近年の住宅、生活様式が変化するなかで、日常生活の中での
伝統工芸品の利用は年々減少しており、新たな展開を目指していくことが
求められています。

今回の次世代育成セミナーの異業種交流では、建築、インテリア、景観等に
関わる皆さんを招聘し、沖縄の伝統工芸品の新たな展開、取組みに向けた、
可能性を探る機会とします。

テーマ

沖縄の景観、インテリアにおける伝統工芸品の活用に向けた可能性について

第1部 沖縄の景観形成における伝統工芸品の活用の可能性について

第2部 インテリア素材としての伝統工芸品の活用について

日時 : 平成27年1月21日(水) 14:00~18:30

場所 : 沖縄県立博物館・美術館1階博物館講座室

I 意見交換会 14:00~17:00

趣旨説明・あいさつ・パネリスト紹介 (14:00~14:20)

事例報告 (14:20~14:40)

第1部 (14:40~15:40)

第2部 (15:50~17:00)

II 交流会 17:30~18:30

パネリスト

平 良 啓 株式会社 国建(建設コンサルタント) 常務取締役

落 合 隆文 株式会社 建築設計同人匠才庵 建築部長

新 里 香代子 沖縄暮らしのでざいん研究会 代表者

古波蔵 健 宜野湾市まち未来課 プロジェクトマネージャー

小橋川 順市 NPO法人沖縄県工芸産業協働センター 理事長